

令和7年度 学校評価報告書（前 期）					鬼北町立三島小学校							
【評定の評価基準】 A：80%以上達成 B：70%以上達成 C：60%以上達成 D：50%以上達成 E：50%未満												
【アンケート結果】 4：できている 3：おおむねできた 2：あまりできていない 1：ほとんどできていない												
領域	重点目標	評価指標	評定	考察（◇）及び改善方策（◆）	評価資料	評定	評価指数	4	3	2	1	
I 明るく	明るい対話	①子どもたちは、地域のことを知ったり、地域の方と交流したりできている。	A	90.5%	◇保護者の評定が上がり、全評価資料でA評価となっている。戸祇の子学級や三島大運動会での地域の方との交流、総合的な学習の時間や教科での校外学習を計画的に実施したことで、全体的に評価指数も上がっている。 ◆地域学習や交流活動を計画的に実施していく。その際、児童にめあてを持たせ、主体的に活動できるようにする。	地域住民	A	94.4%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
		教職員	A	90.6%	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%				
		保護者	A	84.3%	37.0%	63.0%	0.0%	0.0%				
		児童	A	92.9%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%				
		地域住民	A	94.4%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%				
		教職員	A	87.5%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%				
	コミュニケーション力	②子どもたちは、気持ちのよい挨拶ができている。	A	88.0%	◇昨年度から引き続き、全評価資料でA評定となっている。しかし、教職員の評価指数が上がっているが、地域、児童の評価指数は下がっている。また、児童の中には否定的な評価も見られる。 ◆気持ちのよい挨拶が、いつでも誰にでも自分からできるよう、声掛けを続ける。また、児童の視点から「あいさつ名人」を決定して全校の前で称賛したり、挨拶に対する成長が見られた児童には称賛の声掛けをしたりする。	保護者	A	87.0%	48.1%	51.9%	0.0%	0.0%
		児童	A	83.0%	50.0%	35.7%	10.7%	3.6%				
		地域住民	A	88.9%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%				
		教職員	B	75.0%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%				
		保護者	B	76.9%	14.8%	77.8%	7.4%	0.0%				
		児童	B	75.0%	17.9%	67.9%	10.7%	3.6%				
II 正しく	共に学ぶ力	④子どもたちは、相手の方を向いて分かろうとして話を聞き、内容を聞き取る力が付いてきている。	B	79.5%	◇教職員、保護者の評定が上がっているが、聞き取る力を育てていく必要があるという意見があった。 ◆話の内容を聞き返したり、意見を聞いたりするなど、聞き取れているかを確認する。また、教職員は、児童に分かる言葉で端的に話すよう気を付ける。	教職員	B	75.0%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%
		保護者	A	80.6%	25.9%	70.4%	3.7%	0.0%				
		児童	A	83.0%	39.3%	53.6%	7.1%	0.0%				
		教職員	C	68.8%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%				
		保護者	B	77.8%	25.9%	59.3%	14.8%	0.0%				
		児童	A	82.1%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%				
	豊かな人間性	⑥子どもたちは、学習に意欲的に取り組んでいる。	B	78.6%	◇教職員・保護者の評定が上がっているが、児童の中には否定的な評価が見られる。 ◆児童の意欲が高まるよう授業改善を行い、意欲的に取り組めていることを具体的に称賛する。	教職員	A	81.3%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
		保護者	A	80.6%	29.6%	63.0%	7.4%	0.0%				
		児童	B	74.1%	21.4%	60.7%	10.7%	7.1%				
		教職員	C	62.5%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%				
		保護者	C	61.1%	14.8%	22.2%	55.6%	7.4%				
		児童	B	70.5%	28.6%	39.3%	17.9%	14.3%				
豊かな人間性	⑦子どもたちは、本を読み、読書の習慣が付いてきた。	C	64.7%	◇評定に変化はないが、全評価資料で評価指数が下がっている。各学級で意識して声掛けを行っているが、さらに具体的な取組が必要である。 ◆木曜のときのこタイムを読書の時間と設定しているが、物語を読む時間として、読書活動の習慣化を図る。 ◆図書委員会が中心となって行っている「おすすめの本の紹介」を、全校児童からも募集し、効果的にICT機器を使うことで、読書への関心を高める。	教職員	A	81.3%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	
	児童	A	92.9%	82.1%	10.7%	3.6%	3.6%					
	地域住民	A	86.1%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%					
	教職員	A	84.4%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%					
	保護者	A	89.8%	59.3%	40.7%	0.0%	0.0%					
	児童	A	86.6%	57.1%	32.1%	10.7%	0.0%					
豊かな人間性	⑧子どもたちは、タブレットや辞書を使う力が付いてきた。	A	87.1%	◇教職員の評価指数が若干下がり、児童は若干上がっている。児童の中には、否定的な評価が見られる。 ◆教師も積極的にタブレット端末を活用し、デジタルとアナログのベストミックスを目指した授業を心掛ける。	教職員	A	90.6%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	
	保護者	A	85.2%	48.1%	44.4%	7.4%	0.0%					
	児童	A	84.8%	53.6%	35.7%	7.1%	3.6%					
豊かな人間性	⑨子どもたちは、友達を思いやり、大切にしている。	A	86.7%	◇教職員の評定が上がり、全評価資料でA評価となったが、児童の中には否定的な意見が見られる。 ◆些細なトラブルを見逃さず、事例に応じた指導をすることで、思いやりの気持ちを育ませていく。								
	⑩子どもたちは、困ったときは誰かに相談する雰囲気ができている。	A	86.9%	◇昨年度に引き続き、全教科資料でA評定である。しかし、教職員の評価指数は上がっているものの、児童は下がっており、保護者、児童の評価が下がっている。 ◆困ったことがあれば誰にでも相談することが大切であることを児童に伝え、日々の児童の変化を捉え、寄り添っていくようにする。								

Ⅲ 強く	めあてをもった生活	⑪子どもたちは、自分で手洗いなどに気を付けたり、事故なく安全に生活しようとしたりする意識が身に付いてきている。	A	86.4%	◇保護者の評価が上がり、全評価資料でA評価となった。しかし、教職員の評価指数が上がっているが、児童は下がっている。 ◆日々の児童の様子から、適切に安全教育を行っていく。 ◆計画的に避難訓練だけでなく、様々な想定 の避難訓練を実施する。	教職員	A	87.5%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
						保護者	A	85.2%	44.4%	51.9%	3.7%	0.0%
						児童	A	86.6%	57.1%	35.7%	3.6%	3.6%
						教職員	B	78.1%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
	根気強く努力	⑫子どもたちは、朝ごはんを必ず摂る習慣が付き、体を動かすことを楽しいと感じている	A	86.9%	◇全体的に評価指数が上がっているが、朝食の欠食が気になるという意見が上がっている。 ◆食や睡眠の大切さを児童に指導したり、保健だよりや講演会で啓発したりしていく。	保護者	A	88.9%	40.7%	51.9%	7.4%	0.0%
						児童	A	93.8%	78.6%	17.9%	3.6%	0.0%
		⑬子どもたちは、最後まで根気強く努力する姿勢が身に付いてきている。	A	83.0%	◇保護者、児童の評価指数が少し上がっているが、教職員はB評定のままである。個人差があるという意見が出ている。 ◆苦手なことに対して、最初からできない、やらないとあきらめるのではなく、挑戦してみるという姿勢を育てていく。 ◆個に応じたゴールを設定するなど、個人差に対応していく。	教職員	B	78.1%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
						保護者	A	83.3%	40.7%	51.9%	7.4%	0.0%
						児童	A	87.5%	60.7%	28.6%	10.7%	0.0%
		⑭子どもたちは、目標を立てて取り組もうとしている。	A	80.5%	◇B評定の評価資料でも、評価指数は上がっている。しかし、保護者、児童の評価にばらつきが見られる。 ◆学期始めや行事の際には、目標を立てて取り組ませ、その後、振り返りや反省の機会を設ける。 ◆児童が自分に合った目標を立てる際には、達成感が持てる目標になるよう声掛けを行う。	地域住民	A	83.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
						教職員	B	78.1%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
						保護者	B	77.8%	25.9%	63.0%	7.4%	3.7%
Ⅳ 地域に根差した教育	教職員の資質・能力の向上	⑮立てた目標を意識して取り組み、目標達成に努力した。	A	81.3%	◇A評価が上がっている。目標チャレンジシートの達成に向けた努力がなされている。 ◆引き続き、目標チャレンジシートの達成を目指して努力していく。	教職員	A	81.3%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
		⑯子どもたちの様子を観察し、適切に教育相談を行った。	A	84.4%	◇CからAへ評価が上がっている。定期的な教育相談に加え、日々の児童の様子の情報交換や適切な声掛けを行っている。また、家庭や地域の方からの情報提供も指導に生かすことができ、ありがたかった。 ◆引き続き、児童に寄り添った教育相談を心掛けるとともに、家庭や地域の方から情報も生かし、より良い児童の育成を目指す。	教職員	A	84.4%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
		⑰校務分掌以外にも、時と場に応じて助け合いができた。	A	84.4%	◇評価がAへ上がっている。一人一人の強みを生かしながら、役割分担や協力ができる職場となっている。 ◆行事や研修等の負担が大きにならないよう、声を掛け合い、支え合っていける職場づくりに努める。	教職員	A	84.4%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
		⑱連絡・報告・相談を的確に行い、服務規律を遵守した。	A	96.9%	◇昨年度から引き続き、A評定である。「報・連・相」をしやすい、風通しの良い雰囲気がある。 ◆急な予定変更は行事黒板に記入するなど、確実に伝達できるようにする。また、どのようなことでも「報・連・相」ができる風通しの良い職場づくりに努める。	教職員	A	96.9%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	信頼される学校	⑲学校は、子どもたちが安全・安心に生活ができる環境づくりをしている。	A	94.1%	◇教職員の評価があがり、全評価資料でA評定となった。子供たちが安全・安心に生活できる環境づくりに努めている。 ◆引き続き、校舎内外の整理整頓や環境整備を行う。 ◆月に一度の安全点検では、担当者が変わること で様々な視点で確認していく。	地域住民	A	97.2%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
						教職員	A	90.6%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
						保護者	A	94.4%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
		⑳ホームページや各種通信・配布文書、家庭訪問、懇談会、電話連絡等による積極的な情報提供、情報交換を行った。	A	89.5%	◇教職員の評価が上がり、全評価資料でA評定となった。積極的な情報提供、情報交換を心掛けている。しかし、地域の評価指数が下がっている。 ◆学級通信、学校便り、生徒指導通信、人権通信、保健便り、ホームページなど、継続して発信していく。 ◆地域との交流活動や行事、各種会議等の際に、学校の取組を知らせたり、情報交換をし たりしていく。	地域住民	A	88.9%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
						教職員	A	84.4%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
						保護者	A	95.4%	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%
		㉑地域に根ざした教育活動やPTA活動に取り組み、保護者や地域・関係機関と積極的に連携した。	A	90.5%	◇教職員の評価が上がり、全評価資料でA評定となった。計画的に地域や保護者との連携が図られている。 ◆引き続き、積極的に連携を図りながら、開かれた学校、信頼される学校づくりに務める。	地域住民	A	91.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
						教職員	A	84.4%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
				保護者	A	95.4%	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%		
学校運営協議会委員の所見					学 校 の 対 応							
○正しい言葉遣いは、今後の生きる力につながることで、その場でタイムリーに根気強く指導を行ってほしい。 ○読書習慣については、想像力を豊かにするためにも物語をしっかりと読んでほしい。また、物語を中心として、歴史、伝記、ノンフィクション等の本にも親しんでほしい。 ○学校評価として、明るく、正しく、強く、地域に根差した教育の目標は、数字として、おおむね達成していると思う。今後の課題として、コミュニケーション能力の向上を願う。人を認める、自分を見つめるためにも、人とのふれあいを大切にしてほしい。そのために、本の力を最大限に利用を期待する。					○正しい言葉遣いを身に着けるために、言葉の使い方を教えたり、気になる言葉遣いがあればその場で指導したりしていく。児童の言語環境を整えていくためにも、まずは、教職員自らの言葉遣いに気を付ける。 ○コミュニケーション能力を向上させるために、内容を聞き取れているかを確認したり、話し方について指導したりしていく。また、意見を伝え合う場を設定したり、教職員が端的に分かりやすく話すよう心掛けたりする。 ○読書の時間には、物語を中心として、歴史、伝記、ノンフィクション等のジャンルを読むよう声掛けを行う。また、ICT機器を効果的に使用して読書への関心を高めていく。							